

平成14年度 病虫害発生予察注意報 第2号

病虫害名：アザミウマ類

(ネギ・アザミウマ・ミカンキイロアザミウマ他)

対象作物：野菜類

1. 注意報の内容

- (1) 対象地域 都内全域
- (2) 発生量 多

2. 注意報発令の根拠

- (1) 巡回調査によると、各地とも果菜類やネギなどで発生が多い。特にミカンキイロアザミウマ等によるトマトやインゲンの白ぶくれ症が多くみられるほか、ナス花房内での密度が高い。またネギアザミウマによるハウレンソウなどへの被害が発生している。
- (2) ネギアザミウマやミカンキイロアザミウマは盛夏期に向かって増加する。
- (3) 向こう1か月の平均気温および降水量は平年並みと予想され、今後も発生に好適な条件が継続すると予想される。

3. 防除対策

- (1) 発生源となるおそれがあるので、ほ場周辺部の雑草を除去する。
- (2) 今後コマツナやハウレンソウを作付けする場合は、周囲のネギ畑や果菜類等アザミウマ多発ほ場の防除を徹底しておく。
- (3) 施設では、開口部を寒冷紗（目合い1mm以下のもの）で遮断し、アザミウマ類の侵入を防ぐ。また、UVカットフィルムでの被覆、シルバーテープ設置なども有効である。
- (4) 第1表に主な防除薬剤を示したが、作物ごとに防除基準に従って薬剤を散布する。薬剤防除にあたっては初期防除に重点を置く。
- (5) トマト黄化えそウイルス（TSWV）の伝搬や白ぶくれ症を発生させるので留意する。

表1 トマト、ナスにおける主な防除薬剤

系統区分	薬 剤 名	トマト	ナス
ネオニコチノイド	ベストガード水溶剤	前日，3回	前日，3回，(㊟ナ)
合ピレ	アーデント水和剤	前日，3回，(㊟カ)	前日，4回，(㊟カ)
有機リン・合ピレ	マラバッサ乳剤		3日前，3回，(㊟カ)(㊟ナ)
IGR	マツチ乳剤	前日，4回，(㊟カ)	
その他	アフーム乳剤	前日，2回	
〃	コテツフロアブル	前日，2回，(㊟カ)	前日，2回，(㊟カ)(㊟ナ)
〃	スピノエース顆粒水和剤	前日，2回	前日，2回

(㊟カ):ミカンキイロアザミウマのみに登録がある

(㊟ナ):ナミキイロアザミウマのみに登録がある